

小川山

「金峰山川東股沢・野猿返し」・「お殿様岩・大貧民ルート」

2022年11月11, 12日

参加者：杉山、桐林（記）



野猿返し3P目 岩峰 正面凹角



大貧民1P目のチムニー状ルンゼ

マルチで易しくピッチ数が多いところということで、小川山に行ってきた。どちらも5.7以下、4P以上となっている。オールNP。朝3時過ぎに出発。廻り目平に6時半到着。平日でガラガラ。寒い。

野猿返しの取付きを9時過ぎに杉山氏リードで離陸。縦クラックが意外と悪い。フリーで少し歩き、横クラックのフェース。カンテ状をいくとプロテクションが取りづらく左の木に逃げた。リッジ手前で切った。40m近くの高度感。リッジはフリーで抜け、核心の5.7。杉山氏リードで回り込んだ岩塔でビレイ。露出感があるトラバースとクラック。ロープがスタックし、時間がかった。その後は、上の岩塔のカンテを行き、トラバース。リッジを行かず、バンドを抜け、ルンゼ上部の木でビレイ。後のピッチは易しい階段状の岩と歩きとなった。下降点は真新しい残置スリング

とカラビナがあった。

2日目、お殿様岩の取付きを探す。想像よりも左に行き過ぎていた。9時ごろ杉山氏リードで離陸。最初のチムニー状ルンゼは、IV級の割に悪い。手と足をジャミングできれば、安心。2P目の右上クラックは手も足もあるが、なんとなく怖い。左上クラックはジャミングで快適。3P目のノープロテクションスラブを杉山氏が乗り越えた。右のカンテ状を目指すのが弱点。岩峰を乗り越え洞窟状チムニーへ。厚みがある人はかなり苦勞する。お殿様岩上部に懸垂ボルトがあった。懸垂で降り、ニンジャ 5.14a に昨年より取り組んでいるという二人組と談笑。その後、小川山レイバックに行くも親子が練習!?しており、諦めた。西俣沢の対岸、父岩の小川山物語5.9へ。リードで挑戦するも、3P目の上部で断念。ランナウトに怯え、ガックシ。